

Community Design Cafe

コミュニティ・デザイン・カフェ(CDC)

たくさんの人が集い、「コミュニティ」を「デザイン」する
そんな「カフェ」のようなセンターを目指します

CDC News Vol.028 2007.05
生きがいしごとサポートセンター阪神北

団塊の世代への呼びかけ

センター長 森 綾子

今までにも何度か事務所の引越しがありましたが、再び1年ぶりの引越しを5月の連休前に行いました。

同じソリオ1の3階ですが、一番奥の第1会議室です。元が会議室ですので100平米あり、会議室と事務所に分けて使うことができそうです。

明るくなったのと、広くなったので、ゆっくりしていただけます。ぜひお越しください。

さて、今年度は生きがいしごとサポートセンター阪神北の事業でシニア・団塊の向けの事業が追加されましたので、力を入れていく予定です。

団塊世代は個性的で同じような動きはしないとされていますが何しろ数が多いので、塊になって動くと言うのは確かでしょう。かくいう私も団塊世代で、元主婦だった私はボランティア活動を10年間行い、次にはボランティア活動センターで10年間ボランティアコーディネーターの仕事をし、その後NPOを起業したわけですが、今の生きがいしごとサポートセンター事業を平成14年に兵庫県より受託してからは、すっかりコミュニティ・ビジネスのとりこになってしまったのです。

なぜなら、コミュニティ・ビジネスでは継続と働く人を雇用することを目指しているのです。仕事をしている人に給料が支払われ、それで自立していけるからです。

社会に役立つ仕事ができ、生活できることは私が一番めざしていた生き方でした。しかも、仲間と

仕事ができます。仲間は自分の足りない部分を補完してくれますし、人間関係で悩んだり喜んだりすることが生きている実感につながります。

また、コミュニティ・ビジネスのビジネスという言葉に抵抗感があるという声も聞きますが、NPO活動を継続させるためにはビジネスセンスや事務処理能力は必須です。コミュニティ・ビジネスの起業から、運営にいたる道筋は人生の修行のような気がして、心が躍ります。

そして、60歳を目前にしている私にとってコミュニティ・ビジネスの良さはもうひとつあります。それは生涯現役でこの仕事を続けられることです。サラリーマンのほとんどが60歳定年でこれまでの仕事を継続しないで再出発するのと違い、コミュニティ・ビジネスでは年齢や性別に関係なく、元気でやる気さえあればいつまでも働くことができます。団塊世代の人にもコミュニティ・ビジネスで働くことをお勧めします。

企業と違うことはいっぱいあって、最初は驚きの連続だと思いますが、第2のステージを地元で、地域の課題を探し解決するために起業するのです。

まず最初はNPO法人でボランティアをします。ボランティア活動がコミュニティ・ビジネスの基礎編で地域の人と出会ったり、人に喜ばれることは何かを学びます。そうやっているうちにNPOの水に会えば雇用されるのもよし、自身が起業されるのもいいと思います。

そんな風な気持ちになったら、ぜひ尋ねてきてください。残りの人生を楽しく、社会のために役立ち、健康に生き抜きましょうよ。一緒に！

今さらですが…。

生きがいごとサポートセンター阪神北 (CDC)へ行こう

5月にまたまた引越しをしたことをきっかけに久しぶりにおいでいただく方も増えました。

ご来訪の際にお話するうちに、「えっ！ここのってそんなこともできるの？」とか、「何回か来てたけど、それって変わってたんだ、知らなかった～」とかいうお声を結構お聞きしました。

そこで今更ですが、この機会に改めてご案内いたします。

生きがいごとサポートセンター阪神北とは？

当センターは、兵庫県「コミュニティ・ビジネス等生きがいごと支援事業」の補助を受けて、(特)宝塚NPOセンターが実施・運営しています。

この事業は毎年コンペ方式により今年度の場合、県下6拠点の受託先が決まりました。(特)宝塚NPOセンターはこの事業を受けて6年目になります。

CDCって何？

生きがいごとサポートセンター阪神北の愛称です。ニュースレターの表紙にもあるように、「たくさんの人が集い、コミュニティ(C)をデザイン(D)する、そんなカフェ(C)のようなセンターを目指します」という思いを込めています。

CDCの開設時間

宝塚NPOセンターと同じです
毎週月曜日～土曜日(週6日開いています)
午前9:00～18:00
(日・祝、お盆、年末年始はお休み)

こんなサポートをしています

コミュニティビジネスを起業したい！！
・法人申請のお手伝いや設立前から設立後の運営までの相談(無料)ができます。
・会計・税務、中小企業診断士、社会保険労務士などの専門家による相談(有料)のコーディネート

つながりたい！！

目的を同じくする、様々な団体や人たちと創造的なネットワークを支援します。

例：阪神NPO連絡協議会(毎月1回開催)

日々の活動内容は各ブログをご覧くださいね！

求人・求職をしたい！！

- ・求人したい事業所 ホームページ、センター内の掲示板などで求職者の方へ情報発信します(無料)
求人票のご記入のみお願いいたします
- ・仕事をしたい人 ホームページ、掲示板などの職業紹介に加え、仕事上の悩みや今後のキャリア計画などの相談をお受けいたします(無料)

組織としてスキルアップしたい！！

団体運営に必要な助成金の知識やコツ、事務局や会計のスキルを身に付けるための入門から実践までの各種講座、コミュニティビジネスについての講演、宿泊研修や交流会を開催しています。

活動拠点がほしい！！

NPO・CB 起業家を対象にメールボックスや事務所スペースを有料で提供しています。

阪神北NPOハウス(阪急逆瀬川駅徒歩7分)

カラーコピー機設置しました！



広報のツールが作りたい！
印刷機(リソグラフ・白黒&カラー)・紙折り機、ラミネート加工機の使用ができます(実費負担)

情報を発信&受信したい！！

- ・各団体のチラシやニュースレターの置くことができます(ご遠慮なく送付またはご持参ください)
- ・NPOやCB、ボランティアに関する書籍、冊子の閲覧ができます。
- ・行政やマスコミなどへの広報ができます。
例：阪神北県民局・ひょうごボランティアプラザ、サンケイリビング『NPOから』欄(毎月1回)、読売新聞、FM宝塚など。
メールにて情報をお送りください(随時受付)

当センターが大切にしている事

サポートセンターは『支援+応援センター』です。やろうとしている事業を評価するのではなく、どうすればうまくいくのかを一緒に考えながら進んでゆく『伴走者』の気持ちを大切に日々運営しています。

自らの自発的な意思で、誰にも開かれた活動を、営利を目的にせず、持続性と組織性を備えようとする“気持ち”だけあれば(まだ形なんて無くても)どなたでもご利用いただけます。気軽に、どうぞ～

新:ほんとは苦手?コミュニケーション講座 コミュニケーション力は ワークショップで鍛えましょう

このところいろいろな所でコミュニケーション講座が大流行って感じがしませんか?事件が起これば犯人像は「何考えてんの!？」と思わず思ってしまうくらい感覚が違うのか常識が違うのか。こんな人達とどうやって意思疎通が図れるって云うのかと思っ

てしまいます。いろいろな年代がそれぞれにコミュニケーションについて悩んでいる証拠なのかもしれませんね。

でも、私はコミュニケーションを取るのが上手だろうか?と振り返ってみると、これまた不安でいっぱい!!という人は意外と多いのではないのでしょうか。

そこで、今年度はコミュニケーションについて考えたいと思います。



ちょっと、そのまえに。

人間が「社会的動物」である以上あたりまえな基本的な能力でありながら、なぜ今さらコミュニケーション力が不足、不足と、云々されるのでしょうか?

それには“大きな変化に対応できるだけの”という説明をつけ加える必要があるのかもしれません。

よく言われるように1990年を境に、世界はこれまでの終身雇用や護送船団方式で、みんなと同じように頑張っていれば、希望がかなえられる時代から、将来の予測が不可能な時代に突入しました。

そこでは、これまでのコミュニケーション力では不足なのかもしれません。「みんな」から「一人でも」生きてゆかなければならない世の中で、必要とされる力とはどのようなものなのでしょうか。



キャリア教育を支えるのは、 コミュニケーション能力(教育)

若者をめぐる問題の中で就業経験のないニートやフリーター、引きこもりなどの一つの予防策として早期のキャリア教育があげられます。けれどもこのキャリア(人生をどのように生きてゆくのか)教育とて、ベースとなるコミュニケーション(自己表現)力ぬきでは成り立ちません。



では、本題!

コミュニケーション力はどのようにすれば身につくのでしょうか?あなたのコミュニケーション能力はどのように開発してきましたか?と聞かれてすぐ答えられないように、そのくらい日常的に(無意識に)培われてきたのではないのでしょうか。唯一わかっていることは、一人ではできないということ。

そのために、ワークショップ(参加・体験型講座)という手法があります。

コミュニケーションをうまく取りたいという「主体的参加意識」を持った個人が集まり、ちょっと日常とは違うリスクを冒して自らやってみる「体験」を重ね、振り返り、概念化し、参加した者同士で感じたことを「共有」することによって、その他の局面でも応用できるようになるという豊かな手法です。



ワークショップに必要なものは3つ

場作り

プログラム

ファシリテーター(進行・促進役)

このなかで と は用意するのは簡単ですがこのファシリテーターは、ある程度訓練が必要なので、誰でもすぐできるという訳にはいきません。

そこで、それほどのスキルがなくともワークショップをうまく運営するために、いくつかのグループワークで使用されてきた安全な『ワークシート』があります。



ワークシートって?

作業のための工程表というのが直訳ですが、ワークショップに入る前に自分の考えや思いを書いてみてシートに沿って考えを整理、共有することにより終えた後にそのワークショップを振り返り、感想をまとめることにより、共同作業の充実感や結論が導き出せる、という利点があります。

今回は具体的なワークシートの活用法をご紹介します。

講座・相談のお知らせ

印の実施場所は生きがいごとサポートセンター阪神北です

専門家による「初歩からの会計」講座 6月5日(火)・8月10日(金)13:30~15:00 参加費 1500円

情報発信:「新・ブログ講座」

6月9日(土)・6月20日(水)・7月14日(土)

毎回10:30~12:00 参加費:1000円(1団体)

情報管理:「使える」名簿作成から宛名シールづくりまで」6月27日(木)13:30~15:30

団塊・シニアが集まる「セミナーの作り方」講座 7月5日(木)14:00~17:00

参加費 2,000円(資料代、交流会費含) 於:宝塚市立男女共同参画センター(ソリオ2 4階)

近畿ろうきん NPO パートナースhip制度ボランティアセミナー 7月26日(木)14:00~17:00

参加費 無料 於:宝塚市立男女共同参画センター(ソリオ2 4階)

エクセル&アウトLOOKを使った便利なメール一斉送信のソフトをご紹介します。

上記は講座ではなくコンサルティング事業となります(出張可)。関心のある方はご一報下さい。

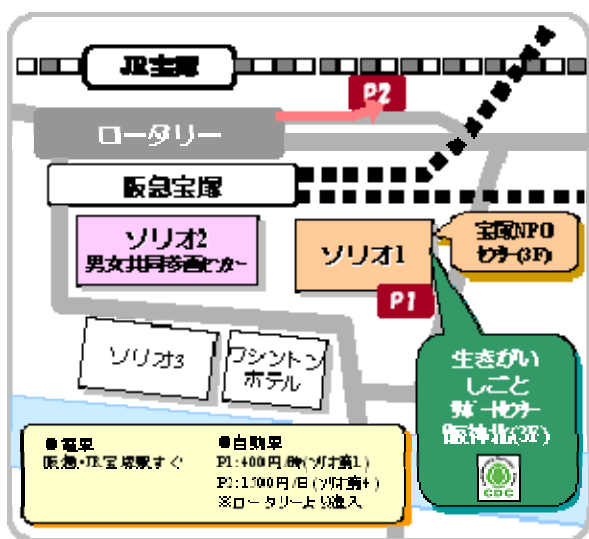
就業支援:あなたと仕事について考える「キャリアカウンセリング」(1回50分)無料

事前にご予約ください。

ひきつづき、お願い 従来よりお願いしておりましたニュースレターのお届け方法の件ですが、順次、郵送からE-mail送信(PDFファイル版)へ、切替えをさせて頂いております。なお過去のニュースレターはホームページからご覧いただけます。 <http://voluntary.jp/hnpo-net>

編集後記

引越しの計画やら準備に費やす時間が増えてくると、だんだん煮詰まってきて、引越してなんだろうとか、その効用って何だ?なんてつまらないことを考えてしまう。効用については 初心に戻れる。捨てられなかった荷物がこの機会に処分できてスッキリ。新しい出会いがある(かも)・・・でも、なんといつても新しいものが買える!!というのが一番モチベーションが上がることであったことに気づいた。私にとって「捨てる」のは「買うため」だったんだなあ。(T)



生きがいごとサポートセンター阪神北

~コミュニティ・デザイン・カフェ(CDC)~

〒665-0845 宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F

TEL&FAX 0797-87-4350/4351

E-mail [cdc@hnpo.net/](mailto:cdc@hnpo.net)

URL <http://voluntary.jp/hnpo-net/>

(特)宝塚 NPO センター

〒665-0845 宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F

TEL&FAX 0797-85-7766/7799

E-mail zukanpo@hnpo.net

URL <http://voluntary.jp/zukanpo/>

「生きがいごとサポートセンター阪神北」は、兵庫県「コミュニティ・ビジネス等生きがいごと支援事業」の補助を受けて、特定非営利活動法人宝塚 NPO センターが実施・運営しています。同事業は、生きがいごとサポートセンター播磨西、生きがいごとサポートセンター播磨東(ウェクス)、生きがいごとサポートセンター神戸西(しゃらく)、生きがい仕事サポートセンター神戸東(ワラビー)、生きがいごとサポートセンター阪神南(UN)の6拠点にて運営されています。